

里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 A (対象地域の概況)

No.85		井上地区		生物地理区分		シイ・カシ萌芽林	
				地域区分		中山間地	
所在地	都道府県	大分県		地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地
	市町村	豊後大野市			4.低地	5.その他	
	集落名称等			環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田
					4.畑	5.小川・水路	6.ため池
				7.池沼・湿地			8.社寺林
				10.その他			

環境要素 (対象とする地域に含まれる環境要素)

: 面積割合が最大のもの : それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
	緒方疎水が「疎水百選」に選定(平成 18 年)
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
	古くから農業水利の発達した地域で、江戸時代から緒方五千石と呼ばれ、井路に設置された水車が常に廻っているなど景観豊かな田園地帯。緒方疎水は、江戸時代正保年間(1644~47年)に開削。



写真の説明：地域住民による緒方疎水の補修作業。



写真の説明：自然と人間の好ましいあり方を見直すことを目的に実施した生き物調査。

No. 85		井上地区		取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	大分県			2.団体・企業・学校等
	市町村	豊後大野市			3.行政による支援施策の活用
	集落名称等				4.多様な主体が参加・連携する組織体
					5.その他

取組主体	主な主体の名称	井上担い手むらづくり協議会	
	その他の主体の名称		
目的 :主 :その他	1.農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化(伝統的なものも含む)		
	対象・取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成12年から実施したほ場整備事業を契機に「井上担い手むらづくり協議会」を組織。むらづくりビジョンを策定し、集落全戸(73戸、うち農家29戸)が参加し、「農業生産」「農村文化」両面からむらづくり活動を実践。その活動は平成16年度大分県農業賞「むらづくりの部」特別賞を受賞している。 地域資源の維持・補修については、農地・水・農村環境保全向上対策(農林水産省)を活用することにより、施設の管理に加え農村環境及び自然環境保全の面からの取組が地域ぐるみの活動として積極的に進められている。 <p>農地、農業用施設の保全に向けた活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 農地、農業用施設の点検・機能診断、計画策定。 用排水路の草刈り・泥上げ、農道の草刈り等。 用水路・農道の補修。 	
	支援措置	農林水産省農地・水・環境保全向上対策 H18 年度モデル地区	
	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用		
	自然観察会		
	環境教育・学習活動	*	<ul style="list-style-type: none"> 子供達による生き物調査 地域の小学生とその保護者と協力して生き物調査を実施。子供達にふるさとの素晴らしい自然と自然保護の大切さを伝える。 調査報告書「井上の生き物」を作成し、地区の全戸に配布。
	里地里山体験・環境保全		
	農林業体験活動	*	<p>枝豆狩り交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> 集落内で生産される大豆の収穫前に、市内外の方々と交流を深め、地域の特産品をPRすることを目的に平成19年から開催。参加者は1本1mの荒縄(500円)を購入し、その荒縄に縛れるだけの枝豆をお持ち帰りできる。緑色の絨毯を敷き詰めたように広がる大豆畑と、その周辺に咲き誇る彼岸花といった秋の農村風景を楽しみながら収穫できることから、回を重ねるごとに子ども連れのご家族やグループが増え、第4回(平成22年)は500名を超える参加者で賑わった。
	エコツアー		
	4.野生動植物やその生息地の保全・管理		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちによる生き物調査の調査報告書「井上の生き物」を作成し、地区の全戸に配布することで、地域の自然と生き物に対する関心を高め、自然環境維持向上に努めている。 		
5.地域の良好な景観の保全・修復			
取組内容	<p>歴史的な文化遺産でもある緒方疏水の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記のとおり。 ひがん花の里づくり 地区の全ての農道に彼岸花を植栽するとともに、約1kmの桜並木の造成に努め、農村景観づくりを推進。 		
連携・協働による取組内容・役割分担等			

取組の特徴や強調したい点	<ul style="list-style-type: none"> ・開削以来 360 年間維持されてきた農業水利施設を活用して農業生産を継続するとともに農村文化を保全活用し、さらに地域全体を「農村公園」と位置づけ、彼岸花の植栽、生き物調査等の未来に拓く活動を地域主体で実施している。 ・漏水箇所の補修など地域住民によるきめ細かな維持管理が行われ、今もなお豊かな米どころを支える農業用水機能の確保はもとより、地域の防火用水、生活用水の供給等の様々な役割を果たしている。 ・地域住民の意識の変化により、年齢や職業、性別に関係なく専門知識や経験を活かして、住民の主体的な参加が増えてきた。
--------------	--

取組の概要	歴史ある農業水利施設を活用した農業生産の継続と農村文化の保全活用	課題グループ
事例の特性	歴史的な水辺環境の保全と活用	景観文化 学習体験
取組の中で他の地域の参考となる点	360 年間維持されてきた農業水利施設を活用して農業生産を継続し、農村文化を保全。農道補修や彼岸花の植栽、子どもたちの生き物調査等、未来に拓く活動を地域主体で実施している。	

資料：農林水産省 農地・水・農村環境保全向上対策ポータルサイト 全国活動事例 大分県豊後大野市緒方町井上地区
<http://www.inakajin.or.jp/midorihozen/pdf/8440107.pdf>
 写真：写真：大分県 HP 農業 農地・水・環境保全向上対策 豊後大野市井上担い手むらづくり協議会
<http://www.pref.oita.jp/15950/hozen/data/ohno.pdf>